

に気付かなかった。

授業が終わると、セレナはノラにピアノへの憧れを話した。

「私は四歳からピアノを習い始めたよ」

ノラが答えたちょうどそのときに、エリカがやってきて、セレナを押しつけ、言った。

「友達がない君！またノラに迷惑かけてるじゃない。邪魔なんだよ！」

エリカはノラの手を取り、立ち去った。セレナは黙って二人の背中を見送り、深く傷ついた。

セレナはその日の昼休み、秘密基地で必死

